

令和4年度 国語 科  
 教科名等

校内科目名	学習指導要領の科目名	対象学年	対象クラス						単位数	分類	予定時数
古典B	古典B	3	A	B	C	D	E	F	3	必修選択	105 時間

教科担当・教材等

授業担当者名	
授業形態	講義、演習、発表
教科書	古典B 改訂版 古文編／古典B 改訂版 漢文編，大修館書店
使用教材等	新版五訂完全マスター古典文法，第一学習社 漢文学習必携，京都書房 読んで見て覚える古文単語315三訂版，桐原書店 トータルサポート新国語便覧，大修館書店 共通テスト対策実力養成重要問題演習2023古典，ラーズ 過程の演習 新国語問題集アシスト21集，京都書房 完成日本文学史ノート，京都書房

科目の目標・内容等

学習目標	1・2年で学習した古文の基礎的知識を確認しつつ、更に高度な文章の読解を通して応用力を身に付け、大学受験に対応できる力を養成する。
学習における留意点	主体的に学ぶ姿勢をもち、授業に積極的に参加するようにする。
予習・復習	授業内で指示された内容に関して、必ず予習・復習に努めること。
評価方法	定期考査・平常点(小テスト・提出物・学習態度)等

年間授業計画

学期	単元・授業内容	学習の重点	評価の観点
1	【古文】 をばすて(大和物語) 町の小路の女(蜻蛉日記) 鶯宿梅(大鏡) 若菜上(源氏物語)	【古文】 既習事項の確認をしつつ、重要単語、助動詞、助詞の意味・活用・用法の定着をはかる。 既習事項と関連させて、文章の内容の他、人間関係、文学史の知識を身に付ける。	(1) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力
2	【古文】 御法(源氏物語) おもて歌(無名抄) 沓冠の折句(正徹物語)	【古文】 敬語表現の復習をしつつ、源氏物語のおおまかな流れを理解する。 古語辞典を用いて、助詞・助動詞・敬語を踏まえた現代語訳をできるようにする。 和歌修辭法を振り返りつつ、古語で書かれた評論(歌論)を読む力を身に付ける。	(1) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力
3	【古文】 御法(源氏物語) おもて歌(無名抄) 沓冠の折句(正徹物語)	【古文】 敬語表現の復習をしつつ、源氏物語のおおまかな流れを理解する。 古語辞典を用いて、助詞・助動詞・敬語を踏まえた現代語訳をできるようにする。 和歌修辭法を振り返りつつ、古語で書かれた評論(歌論)を読む力を身に付ける。	(1) 言語能力(語彙力、文法理解、読解力) (2) 知識、技能(主題に対する背景知識、問題意識) (3) 思考力、判断力、表現力

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。